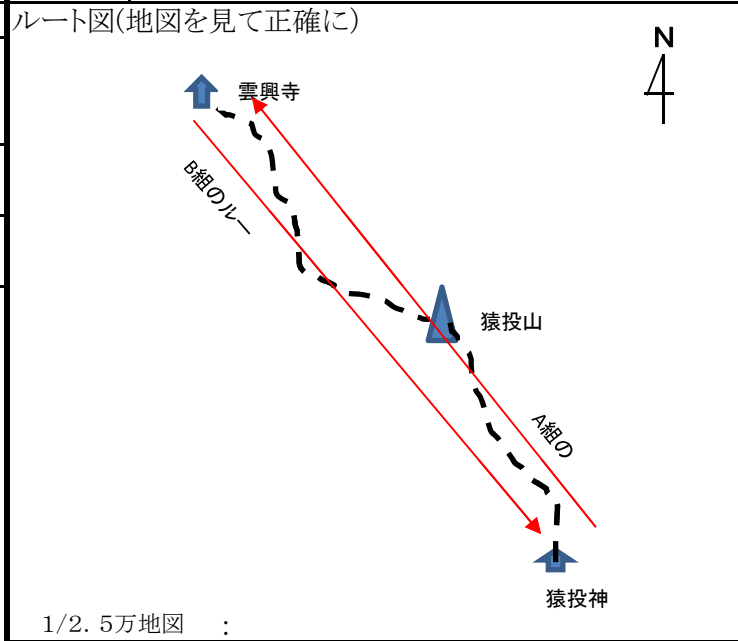


7月度 <del>例会</del> 個人		山行報告書		報告者; 佐溝直彦	参加 メンバー	A組CL:油井武、青山武 B組CL:佐溝直彦、塚本英吾 不破孝浩、
山城	西三河の山	山行日	7月 21日	報告日;017-7月22日		
山名	猿投山	泊 日	日帰り			

山行目的	夏山トレーニング	コースタイム
------	----------	--------

配布先	ルート図(地図を見て正確に)
参加者;	
PC又は 郵送にて	
原紙;	
会事務局	
HP作成;	
大矢	



天候:晴れ・にわか雨・微風・10時山頂気温25℃

**A組**  
猿投神社Pスタート 7:18～東の宮9:25-10:15  
～猿投山頂10:35(B組と合流)。山頂スタート11:10  
～山桜コースで～雲興寺P13:45。  
車で猿投神社に戻りB組と合流。

**B組**  
雲興寺Pスタート7:10～林道(トイレ)8:22～山桜コース  
～赤猿峠上分岐9:00～猿投山頂10:05-10:35  
(A組と合流)。山頂スタート11:10～展望岩12:00  
30分間調整停滞～  
猿投神社裏P13:25。14:15A組と再合流。  
帰路竜泉寺温泉で入浴、刈谷帰着16:45。

<山行記録>

7月27日予定の鏡平山行のトレーニングとして急遽計画(Tさん別予定有り不参加、代わりにHさん参加)いつもはピストンであるので変化を持たせて2組双方向ルートで設定した。ケータイでの通話がほとんど出来なかった、又私は電池切れとなった、山では余り電話をあてにしているといけない事を再認識(計画書通りの行動を要すと感じた)。予備の電池の携帯も必要。猿投山はルートが多くあるので地図による分岐での確認行為を怠ってはいけないと思う。雲興寺ルートは静かで山道らしい感じがして私個人的には好きなルートである。真夏の時期であり入山者はいつもより少なかった。・・・(B組CL佐溝記)

<A組の行動記録>

予定通り青山氏宅から40分で猿投神社Pに6時55分着・・・と同時にB組佐溝氏から電話あり、支度して頂上直下の東の宮へ向かうと伝えたが、既に電話が切れた為、再三確認の電話をするが通じない。電波のせいだと判断7時18分登山開始途中1回の休憩で1分間当りピッチ42前後で進む。東の宮には9時25分着で予定より30分早く着いた。そこでB組へ電話するが依然として通じない。そこで境内の掃除でもしてB組を待つことにした。10時15分B組から電話で低い方の頂上で待つと・・・急いで一般的な頂上に向かう。10時35分B組と合流。計画書には628.9mと書いてあるが、A組2人は勝手に高い方の頂上と誤解して仕舞ったことが、大きな失策であった。また頂上から雲興寺まで降りの時間は2時間35分も掛かって知ったが、登りには3時間半もかかると判っておれば、暢気にも東の宮で掃除などして待っていたことが、滑稽と云うより申し訳ない 思いでいっぱいである。もうひとつの反省点は、電話が通じない時他の人の携帯へ電話すべきであった。ということで、なぜ気が付かなかったと云う点は未だ不明である。

いづれにしても、鏡平の事前トレーニングとして大いに参考になった。

<フリースペース>

猿投山山頂で合流した熟年メンバー5人



確認	<リーダー所見>
(リーダー)	B組CL佐溝:狙い通り変化のあるルートを楽しめて体力確認になったと思
A油井武	鏡平山行が楽しみ。電池切れの件:今後はoffしておく様工夫します。
B佐溝直彦	
作成	
(報告者)	T
佐溝直彦	